

第5回教育交流ホームステイ in 千葉（教育交流 研究等助成事業）

外国人留学生は、年々増加しています。そうした中で特に多いのは、中国からの留学生です。彼らは日本での生活の間に、より多くのことを経験し、また学ぼうと意欲に燃えています。そうした中で、協会の願いの一つには、「日本を理解し、日本と母国との友好を担ってくれる人材により多く育って欲しい」と、言うことがあります。日本に留学している学生のほとんどは、日本語学校に通学していますが、特に入学初年度は、語学力も十分でなく、学業のみならず生活面でも困難に直面している学生も多いと言われています。こうした留学生の語学力の向上をめざし、日本をより良く理解する人材を育成するために、教育交流・研究等助成事業としてホームステイ事業を実施しています。今年度で第5回目となる本事業は、上記の諸課題等に対して大きな成果を上げつつあると思います。

（1）第5回教育交流ホームステイ実施要項

1. 実施目的 中国人留学生の日本語学習の一助として、日本家庭でのホームステイを体験し、ホストとの交流を通して日本語の語学力を磨き、日本人及び日本文化に対する理解を深め、日中両国の友好の礎を担う人材を育成すること
2. 実施期日 2016年（平成28年）8月5日（金）から7日（日） 2泊3日
3. 実施場所 千葉県下の教職員家庭
4. 対象者 中国からの留学生（大学・大学院入学のための語学研修生）
5. 募集数 7人（ホストファミリー7家庭）
6. 募集方法
 - ・留学生7名については、フジ国際語学院等を通じて公募・選考する。
 - ・ホストファミリーについては、千葉県の教職員関係団体の協力を得て選定する。
 - ・男女比は、ホストファミリーの希望を聞きながら調整する。
 - ・できるだけ同年代の子どもがいるホストファミリーを選定する。
7. 日程 8月5日（金）
新宿駅9：30集合→千葉へ（中央線・総武線）、千葉県教育会館11：00ホストファミリーと合流（自己紹介等セレモニーを）→各ホストファミリーごとに活動にうつる
8月6日（土）
ホストファミリーごとの取り組み
8月7日（日）
午前中はホストファミリーごとに過ごす→千葉県教育会館15：00ホストファミリーとのお別れ会（全体総括会）→千葉駅16：30（総武線快速）→新宿駅18：00解散
8. 経費
 - ・留学生から参加費10000円を徴収し、財団から交通費（実費）及びホストファミリーへの受け入れ費用30000円を支出する。
9. 取り組み
 - ・年度開始早々に、フジ国際語学院・千葉県教職員組合の担当者（福田委員長）と連絡・打ち合わせを行う。
 - ・各ホストファミリーには、計画書を出してもらう。
 - ・ホームステイ希望者には、紹介書類等を出してもらう。
10. その他
 - ・留学生には、旅行保険を掛ける。（協会で負担）

（2）ホストファミリー・留学生名簿

	氏名	所属所（学校等）	学生氏名	男女	年齢
1	小幡 智広	千葉市立院内小学校教諭	计 辰雪 JI CHENXUE	女	18才
2	石原 孝俊	市川市立南行徳小学校教諭	吳 泽斌 WU ZEBIN	男	20才

3	鳥羽 英之	千葉県教育委員会指導主事	胡 佳一 HU JIAYI	女	18才
4	河津 智人	多古町立久賀小学校教諭	魏 新宇 WEI XINYU	男	18才
5	伊藤 雅敏	茂原市立東郷小学校校長	蔡 雨彤 CAI YUTONG	女	18才
6	小谷 佳範	館山市立館山小学校教諭	周 仪威 ZHOU YIWE	女	17才
7	藤村 龍一	株式会社千葉教弘代表取締役	陈 鑫伟 CHEN XINWE	男	22才

(3) ホームステイ ホストファミリーからの報告

よかつた点など

- ・学生さんの性格がおっとりとしていたにもかかわらず、順応性がとても高く早かったです。全体的に我が家の生活リズムに合った人物であったように感じました。本人は無理していたのかも知れませんが…。食事での大皿でシェアするなどの環境にもすぐに適応して、三日間を楽しく過ごすことができたので、とても感謝しています。
- ・学生さんから中国と日本の違いや日本文化に驚かされた点を教えてもらい、中国の文化の一端に触れることができました。貴重な経験を得ることができました。
- ・ホストファミリーとして受け入れるために、当日前から普段より家族全員が濃く密に考えたり、話し合ったり、いろいろ過ごすことができました。家族全員で関わったことで、我々の絆が深まった実感がしました。
- ・外国の文化に触れるよい機会となりました。中国とは歴史的な部分で対立していることもあります、今回のような交流が増えることでともに歩んでいける部分があるのではないかと思いました。
- ・事前に写真、手紙、調査書をいただいたのがよかったです。どんな人来るのか?と心配していましたが、それらによって家族の心配がなくなったと思います。
- ・留学生の方の男性か女性かの希望があつてよかったです。
- ・留学生にとって、生の日本文化に触れる良い機会となったのではないかと思います。
- ・ホストファミリーとしても、地元の特色や文化を再認識する機会となりました。特に後継者不足で衰退しつつある伝統文化（房州うちわ作り）について、この機会に自分も初めて体験をすることができました。
- ・ホストファミリーにとって、留学生であつてもお客様でした。なので、特に我が家の子どもたちにとって、『おもてなしの心』を磨く良い機会となりました。
- ・子どもたち同士が、すぐに友だちとなりました。今でもLINEで繋がっています。プライベートで遊びに来るプランもあるらしく、良いことだと思います。
- ・事前にいただいた紹介シートは、とても参考になりました。
- ・2泊3日（金～日）については、ちょうどよいと感じました。ただ、千葉市から離れた場所については、移動だけで時間を使うため、時間がもったいないとは感じました。
- ・日本以外の人と同じ家で生活することで、文化や考え方の違いを実感することができました。とくに、中学生の息子と娘にとってはとてもいい経験をさせてもらったと思いました。
- ・勤務校にもよって一緒にバスケットをすることができたので、学校の子どもたちも夏休みの思い出の一つになったように思いました。
- ・ホームステイの受け入れが初めてだったため、受け入れ自体がとてもよかったです。
- ・まだ1歳にならない娘がいて心配したが、娘をよくかわいがってくれて、安心しました。



・準備からお別れまで、家族で力を合わせてもなそうという気持ちがあり、家族が団結した感じがあって良かったです。

・知りたい、わかりたいという意欲が高かったため、こちらも調べたり実際に見たりして、改めて気づかされることが多かったです。

学生への評価

- ・好き嫌いだけでなく、苦手なことははっきりと表現してくれたので、本人の希望や要望をふまえたプランが立てやすかったです。
- ・うどん作りやタッキー作りなどの共同作業を進んで行ってくれました。家族団らんの場所に積極的に居ようとする姿勢がとても好印象でした。
- ・中国文化のイメージとして、自己主張が強いのかなと身構えていましたが、一つ一つの言動に奥ゆかしさもあり、迷いながらも次のステップに進もうとする日本的な部分もあり、とても親しみやすかったです。人選が最高だったと思いました。
- ・留学生の方が、真面目で向上心ある方で非常に素晴らしいです。家族にとっても国際交流の勉強になったし、今後も中国との関わりを深めていきたいという気持ちになりました。
- ・留学生の方の語学力が高く、コミュニケーションに困ることがなくてよかったです。
- ・娘とも仲良く遊んでくれて嬉しかったです。
- ・とても礼儀正しく、すぐに家族と打ち解けることができました。子どもたち同士で、すぐに「〇〇ちゃん」と呼び合っていました。
- ・勉強熱心で、日本に来た動機や将来のプランなどをはっきり持っている素晴らしい学生でした。中国人（特に若者）から見た日本人像が、報道とは異なるところが多いということを教えてくれました。
- ・「またいつでも遊びにおいで」と言って別れられた好印象の学生でした。
- ・初日、家に到着後、「茶碗・お椀・箸」をプレゼントとして渡しました。マイ茶碗がないという習慣らしさいため、とても喜んでいました。自分で作った房州うちわや日本舞踊を体験した際にいただいた扇子と合わせて日本文化の物をお土産として持ち帰れてうれしいと言っていました。
- ・とても礼儀正しく、穏やかな青年でした。使った部屋もきれいに使用し、荷物等もいつも整頓されていました。
- ・出された食べ物は、いつも残さず食べっていました。感心しました。納豆にも挑戦するなど、日本の文化を受け入れようというような意識を感じました。お茶碗にご飯粒が残っているのが、うちの中学生3年の息子と同じで少し残念でした。
- ・中1の娘と私と3人で行動することが多かったですが、娘と会話したり写真を撮ったりと仲良くコミュニケーションをとることができました。娘にとってもとても良い思い出になったようでした。
- ・今の時代の子どもらしく、携帯やタブレットをもって（いじって）いる時間が多かったように思います。会話中や食事中など失礼なことはなかったように思いますが、ちょっと時間があると携帯を触っていたのが残念でもっと話ができるとい良かったなと思いました。これはホスト側の問題でもあるかとは思います。
- ・知らない土地で不安が多かったと思いますが、家族の一員としてうまくやっていけたのではないかと思います。
- ・日本の文化への適応が早く、すぐに馴染めていたのはすごいことだと感じました。

今後の希望、改善して欲しい点

- ・貴重な体験だったということだけでなく、こんなすてきな出会いがあるんだなと幸せを感じました。学生さんが、再びふわっと我が家に来てくれる日を待ち続けていたいと思いました。世界は一つであると感じました。
- ・日程やその他もろもろに様々な人たちの苦労を感じました。ありがとうございます。感謝がいっぱいです。実施までの苦労を差し引いても特に大きな問題はなかったです。自由な部分が多くて良かったです。そういう点からも特別なことをして受け入れるのではなく、今あることをちょっと背伸びして、無理なく受け入れることが重要だと実感しました。あれやこれやとやっていくとお互いに疲れてしまうのかもしれないなと思いました。
- ・家族が、どんな子が来るのか心配する面があったので、もう少し早めに事前の情報交換会があるとよいと思いました。留学生からの手紙などで見て、どんな場所に連れて行くかの方向性も考えられるので、早めがいいと思いました。

- 事前にいただいた紹介シートは、ぜひ継続したらよいと思います。できればもう少し情報を載せていただくと事前の準備の参考になるかなと思いました。また、出身地等によって振り分ける方法も一つかなと思いました。
※山間部出身の子は、海のある地方が受け入れる等…。
- 何より気をつけたのが、留学生の体調と事故です。万が一ということも考え、保険について事前に確認させていただきました。説明会の際にそのお話をいただけたとホストファミリーとしても安心できると思います。
- 千教組の問題も大きいと思いますが、決定から受け入れまでの期間が短く、少し焦ってしまいました。終わってみればもっと力を抜いて受け入れても良かったなあという気持ちですが、実際に会うまではだいぶ気をもんでしまいました。7月末にあった説明会をあと一週間早くしてもらえるともう少し余裕ができたかなと思いました。でも学校も忙しいからな…とも思いました。
- お金に関しては、正直だいぶ支出しましたが（笑）、いただいた3万円という金額は妥当かなという感じです。留学生本人が食べたものや使ったものを合わせるとちょうどその位になるかなと思いました。
- こうすればよかったなあという思いはいろいろありますが、人対人のことなので、留学生の性格やホストの受け入れ態勢によって千差万別なのかなと思います。一番の反省はもっとガツガツと話しかけコミュニケーションとればよかったなあという感じです。
- 持ち物についての確認をお願いしたいと思いました。洗面用具等の携行の徹底をお願いしたいと思います。（歯磨き、パジャマ等を持ってこなかったです。）
- 都心部に近いところは、なかなか見せて回るところが少なかったため、郡部の方がいろいろと体験できたのではないかと感じました。結局、「観光」のような形になってしまったと思いました。

（4）ホームステイ 留学生報告

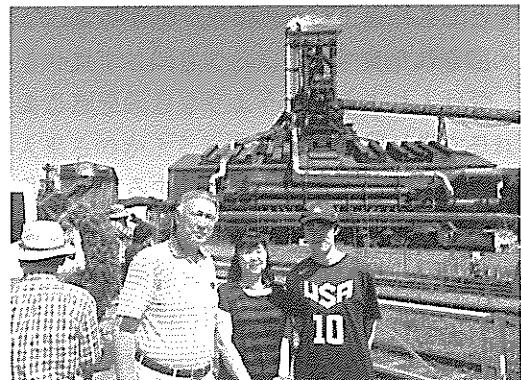
最高の思い出

陈 鑫伟

8月5日、私はホームステイのメンバーとして参加しました。千葉への電車の中で、私はもう緊張し始めた。「相手の家庭はとても真面目だったらどうしようか」、「自分がどうすれば、向こうがおかしいと思わないか」のような心配はたくさんありました。いろいろな事を考える時に、私たちは千葉駅に着きました。私たちは赤岡さんと駅を出て、バスに乗って、そして千葉県教育会館へ歩いて行きました。

教育会館で藤村さんと初めてあった時、私すごく緊張した。しかし、挨拶して、「藤村さんはとても親切な人ですね」そうゆう印象を与えました。最初は、会館の会議室で簡単に挨拶して、それから、みんなで自己紹介をしました。セレモニー終了して、それからホームステイが始めました。

藤村さんは教育交流協会の階下に会社を経営している。車の鍵を忘れましたから、先に会社へ会社員から車を借りて、自分の車の鍵を取りにうちへ帰えて、そして会社に戻って、自分の車を運転して帰ってきた。帰る時、藤村さんは私のお腹がすいていることを恐れて、そして、焼き肉を食べに行きました。私は肉と野菜を食べました。すごく美味しいです。私は食事の量が細かいですから、あまり食べなかった。でも藤村さんは多いです、多分私の2倍ぐらいかもしれない。その後で、君津市立中小学校へ行きました。途中で、私と藤村さんは中国の事を話しました。日本の小学生は毎日20分ぐらい宿題をします、2時間ぐらい部活を参加する。中国の小学生は毎日3時間ぐらい宿題をします、部活はないです。そうゆう考えでは、日本の小学生は幸せ



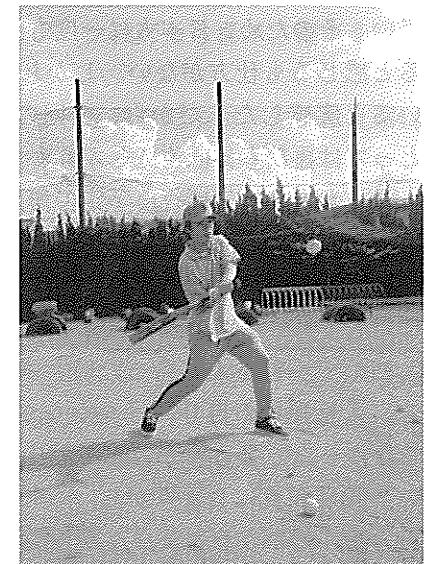
ですね。中国と日本の違うところがもう話しました。中国のみんなは大体は熱い水を飲んでいます、でも日本人は冷たい水を飲んでいます。その理由については、藤村さんもよくわからないと言っていました。初めて日本の小学校へ行って、たくさん印象に残りました。一番深刻な事は、日本の小学校全部にはエアコンがありません。それに私は驚きました。中国の学校には、ほとんどエアコンがあります。そして、ロマンの森温泉に行きました。とても気持ちがよかったです。温泉を出たあと、私たちは海ほたるへ行きました。海ほたるは海面にあります。海ほたるから海を眺める、見た景色は広くて、とてもきれいです。私こんな景色は一度見たことがありません。海を見たから、藤村さんとどうちへ帰りました。そこで、藤村さんの奥さんと長女さんを見ました。奥さんは親切で、優しい人でした。長女さんは優しくて、きれな人でした。晩ご飯は天ぷらです。私も少しい手伝いました。意外な、あまり難しくなかった。

二日目、ラジオ体操をするために6時半に起きました。小学校のグラウンドで住民の皆さんといっしょにラジオ体操をやりました。中国の学生は大体幼稚園から高校までラジオ体操をやっています。それから、初めて日本の朝ご飯を食べました。とても素敵でした。中国のみんな朝ご飯普通は簡単です。面やパンや包子など大体そうゆう物です。だから、こんな素敵な朝ご飯は久しぶりでした。朝ご飯を食べてから、車で新日鉄住金君津工場へ見学に行きました。「山手線は只35キロメートルですよ。」あそここの社員さんから聞いていました。いろいろな事を見ました、たくさんの勉強をしました。見学終わったから、富津海岸へ潮干狩りに行きました。空と海はとてもきれいでした。私と藤村さん夫婦で拾った貝殻は全部で4キログラムでした。3人は6キログラムがいいです、だから私たちは大丈夫でした。それから、海をみました。すごく素晴らしい景色を見ました、とても嬉しかったです。それから、昼ごはんを食べに洋食屋さんへ行きました。この前に私食べた洋食は大体ピザやステーキとかそうゆう物です、今度食べた洋食は見たことがありますけど一度も食べません。だから、私は藤村さん夫婦に感謝している。美味しいな料理を食べました、そして小学校で野球を行きました。私は中国で野球の事を全然知りません。だって中国のみんなは野球をしません。みんなは大体バスケや卓球などしています。私は小学校の野球チームと一緒に野球をしました。キャッチャーポールとバッティングを練習しました。すごく楽しかったです。野球の練習が終わったら、スーパーへ夜ご飯の材料を買いに行きました。

うちで藤村さんの次女さん夫婦と会いました。次女の名前は知世です。読み方はちょっと難しかったです。知世さんは可愛くて、とても親切な人でした。知世さんのご主人翔太さんはハンサムで、優しい人です。そして、私は浴衣を着て、翔太さんと知世さんと藤村さんと一緒に、車でマザー牧場へ花火を見に行きました。マザー牧場はとてもきれいなところでした。そこで私と翔太さんと知世さんはアルパカとラマを見て、アイスクリームを食べました。そしてみんなで太鼓の演奏を見ました。とてもすごい演奏でした。演奏が終了して、花火大会は初めました。花火が夜空、きれいに咲ました。とても美しかったです。

最後の日、藤村さん夫婦と鴨川シーワールドへ行きました。イルカやアシカなどがのパフォーマンスを見ました、すごく面白かったです。たくさん海洋生物を見ました。楽しかったです。昼ごはんはラーメンでした。私は辛いラーメンを食べました。すごく美味しかったです。

この三日間、藤村さんと家族の皆さん、本当に心から感謝している！みんなは私にこの夏の最高の思い出をあげました。私は絶対に忘れない！みんなも私の事を忘れないでくださいね！また今度会いましょう！



「何事も自分の頭で考えよう」

周 儀威

これまでの日本人についての話は大体テレビや教科書の中で見たり、前の世代の回想から聞いたりすることが多い。そのため、日本人に一度も会ったことない中国の青年の記憶に、日本人が悪人という印象は多少歪んでいる感じもある仕方がない。しかし、実際に日本に来たとしても、なかなか日本人の生活になじまない、離れていると実感した。だから、今回の千葉ホームステイの機会が自分にとって再び考え方を改めて重要な機会である。

ホームステイ先に行く予定の何日前に小谷さんからのメッセージがあった。いろいろな挨拶の後も「お寿司は食べられますか」とか、熱心に好みを聞いただけでなく、初めてホームステイに行く自分の疑問に対しても、丁寧に説明してくれた。

初めて小谷さんに会った時、あまり話もしない、他人よりも無口で、人見知りの自分にはなかなか慣れないと思って、緊張してたまらなかった。ところが、車で館山に行く途中で、「昼ご飯何を食べたい?」「和食にしようか」「本当、本当、何か食べたいことがあつたら一緒に行こう」と笑いながら聞いてくれた。食事の後も、「中国の田舎と都市の格差は大きいと聞いたんだけど、それは本当?」「日本に来て一番驚いたことは」ってすぐに打ち解けたことで、小谷さんにも案外な一面があると感じた。後の話だけど、お子さんの優希ちゃんの記憶によると、お父さんはいつも厳しい、内向的な人なのに、こんな時に頭を絞って私を緊張させないようにどれだけ努力してくれたのか心を打たれた。見た目は厳しい人だけど、朝味噌汁なんて食べないわがままな時、バーベキューの場合では一生懸命に家族に肉を焼いているのに結局自分が食べるさえ忘れた時、日常生活に実は運動神経や、頭もよく、毎日ニュースを見ていいろいろな記事に対する考え方があるお父さんなので、私も勉強になった。

長男の幸希さんもそのとおりとお父さんそっくりだ。ところが、頭がいいことに対して、中学校の時代からお父さんと同じ陸上部に入った結果からみると、あまり運動神経がない人だと良く奥さんに言われている。が、高校からもお父さんと同じ弓道部に入って、毎朝7時からささっと練習場に駆け込むようにしている。同じ年の長女優希ちゃんは、お兄ちゃんと違って成績の原因で何回もお父さんと言い合った経験がある。好きな学部があるので、お父さんに能力不足と言われ猛反対された。何度もあきらめたい、悩んだけど、夢の欠片にしても、お兄ちゃんとお二人が家族に認めてくれるまでやり遂げたがったと感じた。

次女の真結ちゃんはまだ小学生だからお父さんの愛の振り籠に育ててきた。だが、週末一回お父さんの車で日本伝統的なダンス教室に通う時だけ全然違うまじめな一面を見せてくれた。姿勢にせよ、まなざしにせよ、いずれも細かいところまでこだわっていることで、私を感服させた。昔私も幼い頃から水墨画教室に通った時、毎回必ず迎えてくれるお父さんことを思い出せて、目に涙が浮かんだ。

中国にいる時、1人子政策で、兄弟と一緒に暮らすチャンスが残念ながらなかった。そのため、4人で一緒に遊ぶ時間は特別の意味が含まれ、私にとって非常に貴重な時間だった。しりとり、バーベキュー、ゲーム、団扇を作ること、ごく普通の日常にしても、今まで体験したことのない雰囲気に違いない。お互いに中国と日本の文化を話し合って、古来の画家、作家、詩歌から現代の映画監督、スポーツ選手。七言絶句、王羲之、若冲、雪舟、枯山水から小津映画、オリンピックまで様々な分野に及んだ。「中国の学生って、昼休みの時間もあるの?」「それはうらやましいね」って教育に関する交流会の形式もあった。話の合間に、奥さんにケーキや、お菓子を用意してもらって、このような楽しい時間ははじめてだった。

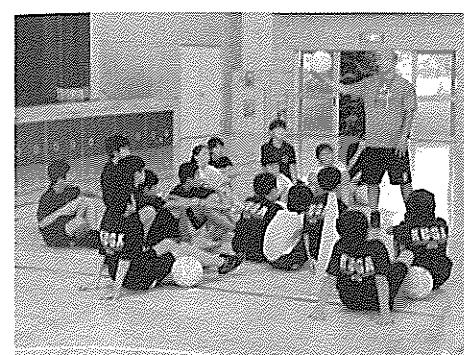
日本人と暮らす三日間、自分の考え方を省みる三日間。いくら国籍や民族の差異の困難が横たわっても、家庭の日常の温かさはいつでもその限界を超えて私にはばっちり伝わるのだ。「何事も自分の頭で考えよう」ということは今回のホームステイのおかげで改めて考え方を改めた。今日の大量情報化時代では、容易にあらゆる情報にアクセスできるだけに、かえって物の本質が見えなくなる。今まで学んだ教科書も人の口から聞いた話も、耳にした考え方を自分がどうぞいた考え方と納得してしまう恐れがあるだろう。そのため、常に自分の目で隠された真実を探す姿勢をとることは必要だ。



ホームステイ感想

魏 新宇

8月5日私はずっと期待していたのホームステイが始まる。私は不安感の気持ちを持って。どんな家族ですか。厳しく優しいとか全然わからない。私はスポーツが好きですから先生はスポーツ教師なら喜ぶ。電車を乗って一時間ぐらい後は千葉県に到着した。



私は最初相手の家族は見えないちょっと残念だった。先生は仕事はあるですから別の先生が私を連れてレストランに行った。レストランに河津先生が見えた。河津先生はスポーツ先生だと。漫画中のスポーツ先生とまったく同じです。皮膚は日に焼けて真っ黒で体は丈夫だ。私はスポーツが好きですからそれからの日は面白いと思った。

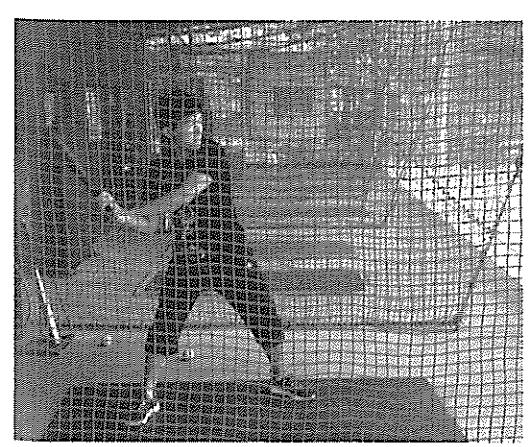
昼ごはんを食べた後、河津先生の小学校に行った、小学校で小学生のバスケットボールの訓練を見た。河津さんの小学校はすごく大きだ。夏休みですから小学校の中は学生学生少ない。そして河津先生と一緒に体育館に行く日本的小学生を見た。みんな一生懸命を訓練する。その雰囲気に私は感動した。



簡単の挨拶の後はもう一回訓練を戻る。河津先生は真面目な先生だ。学生と一緒に訓練をする。この過程の中に学生に技を教えた。その後私と先生はチームになった学生と試合をする。結果はまけた。日本的小学生のチームワークすごい。

少々休んだ後、河津先生の家に向かい行った。家に河津先生のお父さんを見た。おじさんはユモがある人です。その後晩御飯はうなぎを食べに行った。レストランに河津先生の家族が見えた。河津先生の家族は5人がいる。おじさん、河津先生の妻、息子、娘がいる。息子は15歳、娘は13歳だ。晩御飯は美味しいうなぎを食べた。珍しい鯉のさしみも食べた。晩御飯食べた後河津先生の家族と一緒にお菓子を買った。帰宅後一緒に嵐を見た。家族みたいだ。

2日目、朝、正統の日本朝ごはんを食べた。初めて納豆を食べた。微妙な味があるでも嫌じゃない。そして海に出発した。朝から海はちつとう冷たい。海岸の人は少ない。貝を掘るの体験は初めてです。すごく面白い。昼ごはんは蕎麦を食べた。そしてジムに行った。日本のジムは中国のジムと違う。使用後タオルで機械を拭う。あと使用の人を考える。夕方は盆踊りに行った。盆踊りは中国の寺の縁日みたいです。盆踊りで焼きそばとカレーと氷を食べた。日本の伝統の歌を聞いた。面白いです。



最後の日は朝ごはんを食べた

後、神社に行った。宝くじを買った。後は自分でガラスボウルを作る体験がある。ガラスボウルは美しい。過程も面白いだ。昼ごはんはとんかつを食べた。バッキングを行った。野球をした。難しいです。速度速い全然見えない。

別れはどうしても避けられなかつた。悲しいでも本当に感謝した。今回の活動を通じていろいろな知識を学べた。河津先生にこの3日間いろいろお世話をになりました。本当にありがとうございました。

ホームステーの感想

吳 泽斌

皆さんはホームステーをしたことがありますか。体験したことがあれば、本当に一生忘れないわけです。なぜそういう話をしましたか。自分がやらなければ知らないことです。あちこちで遊べるいい感じではなく、日本人の家庭で生活の有り難いです。それは異文化のコミュニケーションです。それは国際のコミュニケーションです。その体験の面白さを初めて、次からいろいろな話を説明します。

一日目の朝、緊張の感じがまだやらない人のとおり、いっぱい出しました。前の日に担当者が説明してくれますが、出発にあたり、やはりそんな気楽にするものではありません。電車の代わりに、直接新宿駅へ行きました。なんかちょっと面倒なことをしました。大久保駅は近いくせに…幸いに新宿駅に到着する時間はただ20分かかりました。西瓜【suica】を持っていない方はちょっと不便な感じがします。特に自分がどこへいくかどうかまだ決めてない時です。千葉行きのチケットを買う時、その状況が発生し、嫌な気がしました。ところで、私は初めて千葉県にいきましたね。千葉県について、前は成田空港だけしか知りません。

日本の電車は本当に便利なものです。新宿駅から千葉駅までも少し時間がかかります。あつという間に千葉県教育会館に到着しました。静かですが、心がドキドキして、どんなホームステー家庭とか、どんな話をすべきとか、いろいろ考えました。もし自分が悪いことをしたら、どうすればいいでしょうか。しかし、ホームステー家庭の石原さんと会って、親切な人を感じます。会館で簡単な説明した後、皆はそれぞれにホームステー先へ行きました。車の中で石原さんと色々な中国と日本のこと話して、石原さんは中国の四川省へいきたいと言いました。それは石原さんは三国志が好きで、特に劉備のことが好きです。でも、私は曹操が好きで、権謀に富み、凄くて偉い人なんで本当に素晴らしいではないでしょうか。話し続ける間、ついに家に到着しました。そして、ちょうどご飯の時間です。ドアを開けて、奥さんと彼達の娘をみました。私は日本人のように靴を脱いで、靴を逆に左に置いていました。それで、「すごい、これも知ってる」と奥さんに褒められました。実際は、それは出発の前に調査したことでした。

家に入って、すぐ日本人の部屋の感覚が出てきます。ちょっと狭い、古い木材で作られた部屋は日本の特徴ではないでしょうか。そう思う伴って、ご飯を食べました。少し休憩してから、石原さんは私を連れて小学校へ見物に行きました。

古い鉄門、木陰の庭、暗い廊下、懐かしい景色、歩いていた、石原さんの説明、回りの歩き、きれいな教室、当たりの光、すべては小学校のとおりに、目のまえに現れました。参観の時、ちょうど休みの日に、残念だと思うけど、学生がいたら、困ることは大変になってしまうんだろう。でもね、この休みの日でも、先生が一人出勤していました。あまい会話能力で簡単な自己紹介をしてあげて、本当に嬉しいです。そういったら、その先生はちょっとハンサムな思い出が残しました…その後何をするつもりだったか。当然に野球をしましょう。そう言えば、前は野球をやったことがなくて、中国は野球をやる人がほとんどないですから、しょうがないでしょう。今回はせっかくのホームステーだから、ちゃんと野球をやってみます。野球は本当に難しいですね。中国人なら、子供みたいにやる気がします。しかし、やるほど、その言えない快感も出てきます。楽しいすぎて、なんか忘れたことがありました。そういう気持ちを考え、ち



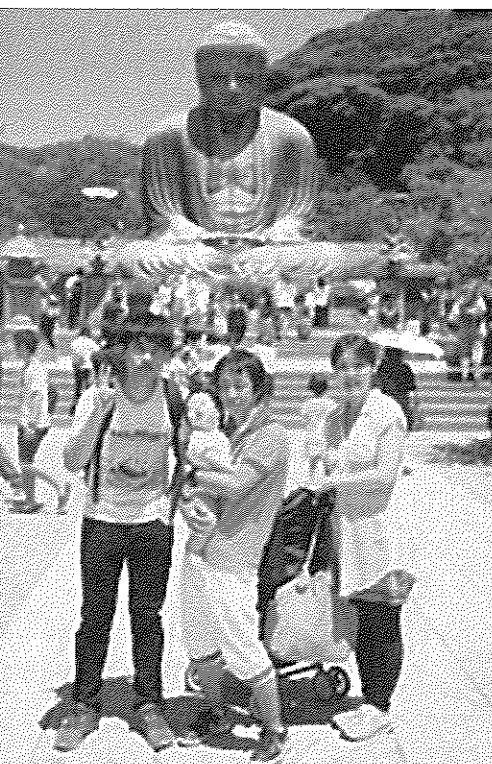
よつと思い出しました。あああ、今晚は奥さんの友達がくるんです！せっかく楽になったんけど、また緊張感がでできます。家に帰って、ずっと椅子に座り、いろんなことを考えました。奥さんと話したり、テレビを見たりしました。そういうと、奥さんはエヴァンゲリオンが大好きですね。私も同じです。だから、夜の時間はエヴァンゲリオン新劇場版三つ放送です。奥さんの友達とともに、喋らない場合は静かに映画を見たほうがいいです。そう言えば、来た友達はすべて女性です。お姉さんたちだから、厳しくて、落ち着いていました。話し合いは晩をわたり、最後弱い私は先にお風呂に入つて、寝ました。

自然光は体にあたりのせいか、部屋の温度が上がり、わたしが起きました。では、二日目が始まりました。二日は最も忙しかった。朝、余裕がある食事、楽しい話し合い、また国の差別を交流しました。そのあと、小学校のサッカー試合を見に行きました。石原さんのサッカーチームもその試合を参加しました。残念なことは石原さんのサッカーチームの試合を見らなかつたのです。サッカーというと、日本の小学生は本当にすごいですね。そのサッカーの技術は大人のようです。中国だけ、サッカーをすることが少なく、最も見慣れたスポーツはバスケットです。そして、野球もありません。ある試合の前、コーチさんは相手のチームに「心配お願いします!!」と言いました。なんかお笑いの感じがします。試合を三回見た後、うちに戻っていました。家に装備を変更し、すぐ外に行きました。昼食はそば屋で食べました。そば屋は古くて、確かに武士の名前みたいな店名である。それで、百年前の電卓が置いてありました。驚いたのは、まだ動くことができます。その後、お台場のDMM PLANETへいきました。DMMは八月の間に光の展示するものです。それは私が夏休みにいきたい場所の一つです。中は素晴らしいけど、時間がないから、停留時間は少なくなります。晩は江戸川花火大会があるから、家に戻らなくて、江戸川の近くに降りました。それも奥さんの両親と会うためです。最初にわたしに敬語を使ってくれて、びっくりしました。江戸川は隅田川より本当にいい場所ですね。座るところが大きい、花火もきちんと見えました。とにかく疲れた日でした。シャワーを浴びてから、寝ました。

三日目、太陽があたっても、目覚めたくないね。二日の疲れと最初日の痛みが積んでいました。でも、いかなければダメです。今日は最終日なのです。今回は車でいかずに、電車のほうが使って、鎌倉へいきます。ちょっと

と考えてみると、それは当然です。鎌倉は市川から遠いから、車で不便になってしましました。電車なら、ただ一時間ぐらいかかります。鎌倉というと、やはり由比ヶ浜と江ノ島がうかびます。でもね、鎌倉だ。海水浴かビーチじゃなく、大仏を見にいきました。高徳院の入口は「ポケモンGOをやれば、ここで入ってはいけません」と書いて立ります。ポケモンGOは大変人気ですね。なかに入って、一緒に大仏の前で写真を取りました。撮影した人は外国人のカメラおじさんです。上手だと思うけど、なんだ撮った写真は下手ですよね。急に駅の近くで食事をして、千葉県に戻りました。乗車中、疲れすぎて、眠りました。奥さんと別れる時、前に買ったお土産をあげました。では、集合地へいきましょう！

最後は皆様の交流会で、三日間したことの面白さを分かち合いました。皆はいっぱいことをして、ありがたい経験をもらいました。ホームステイ家庭との名残惜しさがこころから見えます。最後の最後再び世話になったこと、今後も連絡する思いやり、本当に忘れ難いです。この三日間、何をもらうなら、その日本人の家庭の暖かさ、その両国の異文化のコミュニケーション、その特別な感覚だと思います。では、ホームステイをしませんか。



忘れない三日間

蔡 雨彤

home stayを行うと聞いた時はちょっと不安です。私はこの前に他人の家に住んだことがありません。そして、私は日本語が上手じゃないので交流が問題になるかもしれません。いろいろなことに心配です。しかし、これは難しいチャンスなので、十分に参加したいです。

知らないうちに8月5日になりました。その朝、私は早く起きて荷物を準備して、富士に集まって行きました。他の6人一緒に新宿駅に電車に乗って千葉のホームステイを受けた日本の方と会いました。みんなはとても親切です。教育交流協会にみんなは自己紹介をしました。伊藤さんは優しい人だと思います。

その後、伊藤さんと伊藤さんの息子と一緒にご飯を食べて伊藤さんの家に行きました。その途中にいろいろなことを話しました。伊藤さんの息子は中国語を勉強しているので彼達に中国語の中にはいろいろな方言があることを伝えました。伊藤さんは校長だから、ちょっと休んで伊藤さんの学校に見にいきました。日本の学校は中国のより小さいです。でも、伊藤さんは日本の全部の学校の中にはプールがあると言いました。私は小学生たちがバーボルをするのを2時間ぐらい見ました。びっくりした。そんな長い時間後は「つかれました」といったひとがいません。そして、中国の学生はそんな長い時間の活動がありません。小学生も2、3時間の宿題があります。しかし、お兄さんは小学生の時は10分だけだと言いました。中国の学生の運動が不足だと思っています。夕方は家に帰りました。おばあさんはちらし寿司を作りました。中国はないので、はじめて見ました。美味しいから、私はたくさん食べました。

2日目は6時に朝ご飯を食べました。様々日本の特別な食べ物がありました。私の好きなものは牛乳と果物一緒に食べるものです。日本のソースは全然受けません。そして、みんな一緒に海ほたるに行きました。ゴジラについてのことを見ました。ゴジラの大きい足跡があります。青い海を見て、とても大きいです。ご飯を食べた後

は、笠森観音を見に行きました。その建物様式は、日本唯一の「四方懸造り」として明治41年「国宝」です。珍しい三本杉とか芭蕉翁句碑とか見ました。辛いものが好きだから、晩御飯はしゃぶしゃぶです。日本に来た後は初めてです。十分美味しいので、お腹はいっぱいになりました。家に帰って、お姉さんはフォートフレムを作ることを教えてくれました。

3日目は午前だけあるので、家にとどまりました。私はソースが無理なので、お母さんは卵のスープを湯でました。お姉さんと一緒に抹茶ケーキを作って、ご飯を炊きました。伊藤さんとうどんを作りました。うどんの作り方が面白いです。小さい団子ですが、足で10回も踏みました。そのプロセスはとても楽しいです。ご飯を食べた後、みんなと別れて、伊藤さんと車で協会に行きました。

いつも別れは悲しいことです。これは忘れられない記憶です。いろいろな経験を収穫します。日本についての様々な文化がわかりました。私にこのチャンスを与えてくれてとても感謝します。伊藤さんと彼の家族、私も楽しい三日間を与えてくれて本当にありがとうございました。



楽しかった思い出

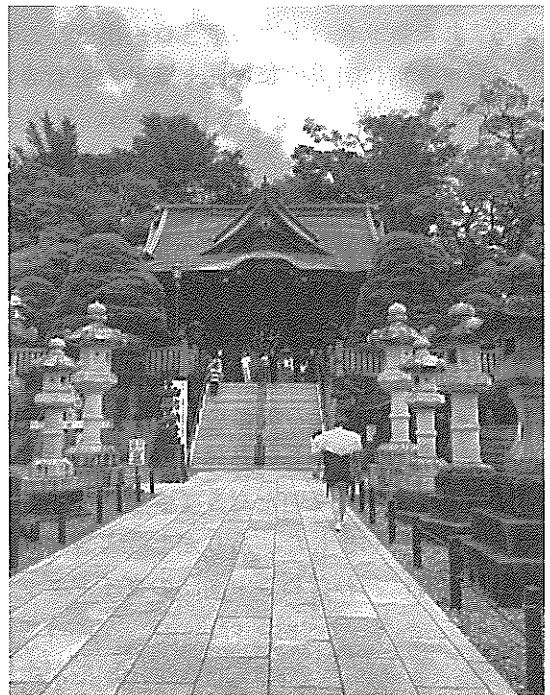
計 辰雪

日本へ来てから初めての夏休みですが、早稲田の受験に追われて全然休めていません。そんな日々の中でも、一つだけいい思い出ができました。それは千葉へ三日間ホームステイしに行ったことです。

初めて会う人なので、最初はかなり緊張したけど、いろんな話題を見つけて話しかけてくれたので、すぐ打ち解けることができました。

最初の日の午後は小幡さんや娘の莉香ちゃんと一緒に千葉の警察署を見学しました。交通安全などについていろいろ学んだり、警察官が実際に仕事をしている様子を見たり、とても貴重な経験ができます。夜はまさかおばあさんの家に晩御飯を食べに行きました。おばあさんがいっぱいおいしい料理を作ってくれました。なんとすっぽん鍋まで作ってくれて、ほんとにうれしいです。昔もおばあちゃんの家でよく食べたなと懐かしく感じました。そのほかにもお土産を買ってきて、本当にすごく感謝しています。

二日目はまず房総の村という場所に遊びに行きました。日本の昔の建物がいっぱいいて、その村にいると江戸時代に戻ったような気がします。船に乘ったり、昔の日本のおやつを食べたりして、昔の日本の文化を体験しました。そのあとは私の合格祈願のため成田山に行きました。そこで合格祈願のお守りをもらいました。ご利益がありそうなので、大事にしていきたいと思います。もちろん勉強もちゃんと頑張るけど。お昼はおいしいラーメン屋さんに連れて行ってもらいました。本当に今まで食べたことない味で、おいしかったです。午後は科学館に行って、プラネタリウムを見に行きました。本当の星空の下にいるみたいでとてもきれいです。その美しさは私の言葉ではとても表しきれないものでした。プラネタリウムを見るのは初めてだから、ほんとに素敵な思い出になりました。夜はすぐ近くにある公園に行って、地域の人たちと一緒に盆踊りをしました。踊りなんて普段はあまりしないので、最初は難しいと思いましたが、親切にリードしてくれる人がいて、大分助かりました。みんなと一緒に踊れて楽しかったです。



忘れない3日

胡 佳一

3日の時間の過ぎるのは本当に速いです。今感動したこと、残念なこと、懐かしいことが私の心にあります。3日のホームステイの経験は今年の夏休みの最高のメモリーになりました。

出発する前に、非常に緊張しました。行きたくないと思いました。日本語がいま下手でしたから、日本人とコミュニケーションができるかどうかと心配して、日本人の話がわからないのが怖いでした。

8月5日、新宿駅でみんな一緒に千葉へ出発しました。電車に乗って、バスに乗って、千葉県教育会館で鳥羽さんと会いました。鳥羽さんは家族の写真を見せで、家の場所を紹介して、3日の計画を教えてくれました。私のこともいろいろ聞いてくれました。私は話すのが遅くともちゃんと最後まで聞きました。

鳥羽さんが本当に優しいと思いました。鳥羽さんの家に着いた後荷物を置いて、昼ごはんを食べて。昼ごはんを食べる時、初めていただきますと言いました。私のプロフィールはトマトを食べないと書きましたから、特にサラダを準備しました。ありがとうございました。休みの後で、鳥羽夫婦と一緒に房総の村へ行きました。入場券を買う時に、わざわざ中国語のガイドブックを要りました。もう一度感動を受けました。房総の村で風鈴を作つて。茶道をやって、日本の古代のゲームを遊びました。不安の気持ちが全然消えました。晩ご飯は鳥羽夫婦と娘さんとうな重を食べました。

娘さんは韓国の歌が好きです、私も韓国の歌が好きです。たくさん話しました、楽しかったです。

2日目、ママはおいしくて、きれい朝ご飯を準備しました。パンも野菜もラーメンもありました。あの日はちょっとオリンピックの開会式がありました、みんな一緒に中国チームの入場を見ました。でも、時間がありませんから、日本のチームを見ませんでした。残念でした。お相撲さんお見た。成田山に行きました。経文を書きました。そして、仏像の前でお賽銭をいれて、願いをかけました。プロフィールに好きな食べ物は寿司だと書きました、パパはわざわざ寿司屋を食べに行きました。午後、家にいました、お弁当を準備しました。浴衣を着て、花火大会へ行きました。途中で初めてモノレールを見ました、不思議だと思いました。乗りたいと言いました。わたしの何気ない一言だけど、ママはモノレールに乗りましょうと言いました。もう一度感動を受けました。夜の花火は楽しくて、きれいでした。

3日目、ママとパパの

結婚した神社にいって、お守り買ってくれました。午後、千葉県教育会館に帰りました。ホームステイの活動は終わりました。

3日の時間が速いです。日本の文化への理解が深まりました。私は日本語があまり上手ではないので、鳥羽家のみんなはいつも優しくて本当に感謝しています。フジ国際語学院や日中國際教育交流協会にも感謝しています。鳥羽さんはいつも写真を撮ってくれて本当にありがとうございました。日本語の勉強を頑張ると思いました。

8月10日、私の誕生日、鳥羽家からプレゼントを届きました。ありがとうございました！

